

会議録

会議の名称	西東京市地域情報化計画策定審議会（第17回）
開催日時	平成26年2月24日（月曜日）午後2時から午後3時40分
開催場所	田無庁舎5階 502会議室
出席者	委員：渡邊博子副会長、池田佳代委員、石田朋子委員、浜昱子委員、福田豊委員 事務局：齋藤情報推進課長、河野情報推進係長、若月情報推進課主事、高枝情報推進課主事
議題	1 第3期地域情報化基本計画書答申について 2 その他
会議資料の名称	資料1 第16回西東京市地域情報化計画策定審議会会議録 資料2 第3期地域情報化基本計画答申
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>開会</p> <p>渡邊副会長： 定刻となりましたので、ただいまから、第17回西東京市地域情報化計画策定審議会を始めます。 本日の審議会の議題は、お手元の会議次第によります。 前回会議録につきましては、事前に事務局から各委員に確認依頼がありましたが、各委員からの御指摘を踏まえて、修正されたものが資料1「第16回会議録」としてお手元にあるかと思えます。 資料1「第16回会議録」につき、御意見等ございますでしょうか。</p> <p>（異議なし）</p> <p>渡邊副会長： では、第16回会議録について承認いたします。</p> <p>渡邊副会長： 議題に入る前に会議次第に記されている他の資料について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>○事務局： （資料についての説明）</p> <p>議題</p> <p>議題1 第3期地域情報化基本計画答申について</p> <p>渡邊副会長： 議題1に入ります。 事務局から、説明をお願いします。</p>	

○事務局：
(資料2の説明)

渡邊副会長：

本日は、答申となります。答申について最後の審議を始めます。

まず、事前にお送りいただいた石川委員の指摘について審議していきます。

10ページの「図5 第3期地域情報化基本計画の重点分野とまちづくりの課題」について審議したいと思います。事務局の修正内容について御意見はありますか。

浜委員：

総合計画との対応関係もわかりやすくなったと思います。

石田委員：

10ページの課題は「総合計画のまちづくりの課題」から市民意識調査の結果を踏まえて、「第3期地域情報化基本計画の重点分野と中心課題」を定めたことを表現していると思いますが、一見すると総合計画の課題なのか、地域情報化基本計画の課題なのか混乱してしまう気がします。

事務局：

総合計画の課題の中から地域情報化計画で中心的に扱う課題を抽出したということ伝える図になります。

福田委員：

当初は、総合計画のまちづくりの課題の協力手段として、地域情報化計画があるという表現だったと記憶しています。むしろ「総合計画のまちづくりの課題」とすればよいのではないのでしょうか。

石田委員：

総合計画との関係を示す図は、「図2 まちづくりの課題と解決の方向性」があります。

「まちづくりの課題」としてしまうと第3期地域情報化基本計画で総合計画に取り組むように見えてしまい混乱してしまう可能性があります。

福田委員：

図5の説明を「第2次総合計画に対応する第3期地域情報化基本計画の課題」等にすることも考えられますが、ここで最も伝えたい内容を正確に記述するには、「総合計画のまちづくりの課題」を7つ全て記載した上で、5つに絞った表現の図が適しているのではないのでしょうか。

事務局：

今までの審議会や事務局の検討の経緯から「総合計画のまちづくりの課題」は、御指摘のありましたような表現の図とはなっておりません。

というのも7つの課題から5つに絞ったような図にしますと、残りの2つの課題に取り組まないような誤解が生じてしまう恐れがあるという意見を踏まえたためです。

石田委員：

本文の8ページから9ページにかけて図5の説明も記載されておりますので、ここは、図を修正するよりも図5の説明を見直し、「図5 第3期地域情報化基本計画の重点分野と中心課題」とした方がいいのではないのでしょうか。

渡邊副会長：

意見をまとめますと、大きく2つあります。

1つは図5を修正する案、もう1つは図5を変更せず、表題を「図5 第3期地域情報化基本計画の重点分野と中心課題」とする案です。どちらがよいかみなさまの御意見をお聞きします。

浜委員：

図5は変更せず、表題を「図5 第3期地域情報化基本計画の重点分野と中心課題」とする方がよいと思います。やはり、7つの課題から5つに絞ったような図にしますと、残りの2つの課題に取り組まないような誤解が生じてしまう恐れがあります。

第3期地域情報化基本計画は、重点分野を定めるものの、あらゆる課題に対して情報化を通じて積極的に解決を図る計画です。この点について誤解が生じない図がよいと思います。

渡邊副会長：

他に御意見はありますか。

(異議なし)

渡邊副会長：

では、表題を「図5 第3期地域情報化基本計画の重点分野と中心課題」とします。

渡邊副会長：

資料2の26ページに「オープンデータの公開」という記述がありますが、「オープンデータという言葉自体が公開の意味を含んでおり、違和感がある」という御指摘があります。

この部分については、御指摘のとおりですので修正したいと考えますがいかがでしょうか。

福田委員：

「オープンデータの活用」という表現はいかがでしょうか。

渡邊副会長：

「オープンデータの活用」に異議はありますか。

池田委員：

26ページで「オープンデータの活用」としてしまうと、11ページの本文の記述とずれてしまうのではないのでしょうか。「提供」といった表現もあると思います。

事務局：

オープンデータに関する議論の中では、二次利用が可能な形式のデータを公開していくことで市民や企業など様々な分野で活用してもらうことが中心であったと考えております。

福田委員：

「データを使ってもらう」という意味が含まれている表現がよいのかもしれませんが。明確でシンプルな表現がよいのではないのでしょうか。

渡邊副会長：

今の議論から「オープンデータの活用」とした方が明確でわかりやすいという意見が多いように思われます。11ページの「オープンデータの公開」と合わせて「オープンデータの活用」という表現に修正するのはいかがでしょうか。

(異議なし)

では「オープンデータの活用」といたします。

渡邊副会長：

34ページの「マルチメディアレファレンスサービスの充実」について「提供の迅速さ」といった評価指標も考えられる」という御指摘について審議いたします。

浜委員：

「提供の迅速さ」も評価指標としては考えられるものだと思います。一方、審議の中で評価指標として「可能な限り市民の視点での評価指標が望ましい」といういわゆる「成果指標」の議論もありました。

「提供の迅速さ」は行政活動に焦点を当てた「活動指標」に近いものだと思いますので、指標設定としては、今のままでよいのではないのでしょうか。

参考までに、今後、施策の進捗管理を行っていくうえで、今回の「評価指標」のみを進捗管理していくものなののでしょうか。

それとも活動の内容やアプローチ等も進捗管理されていくものなののでしょうか。

事務局：

計画書の記述は、分かりやすさという点から施策の要旨を記述しております。もちろん施策の進行管理については、活動の内容と得られた成果についても把握してPDCAを行っていきます。

石田委員：

現在の利用状況としては、20件と少ないように見えるため、受付件数が増えてきた

後、質の向上に取り組むとよいと思います。

福田委員：

一般的にレファレンスサービスそのものの利用は、図書館の窓口で利用される方が多いのではないかと推測されます。そういった意味でWebレファレンスサービスについては、利用対象者が絞られているのかもしれませんが。

Webレファレンスサービスについては、まだ質を評価するには、情報が少なく、本施策の評価指標としてはこのままでよいと思います。

運用の中で質の向上を検討する必要がある場合には、PDCAの中でそういった評価指標に変更するとよいと思います。

(異議なし)

渡邊副会長：

では、「マルチメディアレファレンスサービスの充実」については現行のとおりいたします。

浜委員：

計画書の中では、「つながり」に焦点を当て、従来の「顔を合わせる関係」と「ICTでつながる関係」の両輪から「地域コミュニティの再構築」に取り組むこととなっています。

この点は、市の方針として各課に浸透しているのでしょうか。

まだ、十分に浸透していないようにも思われます。

事務局：

御指摘いただきましたとおり、市は、「顔を合わせる関係」と「ICTでつながる関係」の両輪から「地域コミュニティの再構築」に取り組みます。

十分に浸透していないという御指摘も踏まえて、今後も各課に周知していきます。

浜委員：

本計画書の内容や理念を十分に周知してください。

渡邊副会長：

審議会として重ねてのお願いになりますが、施策の推進や内容だけでなく、根底にある理念についても十分に周知して計画の推進に取り組むようにしてください。

渡邊副会長：

前回御指摘があった1ページの「1 西東京市を取り巻く情報化の現状」の記述についてはいかがでしょうか。

福田委員：

簡潔でわかりやすい表現になったと考えます。

(異議なし)

渡邊副会長：

11ページの「3.3 地域情報化の取り組みで重視する視点」の追加の記述は、いかがでしょうか。

福田委員：

ICTの進化について、積極的に対応することで、ICTのもたらす価値を市民のみなさまに還元していく内容は必要ですのでこのままの内容でよいと考えます。

(異議なし)

渡邊副会長：

13、14ページの「(6) 業務継続計画 (BCP) への取り組み」について文章が冗長であるという御指摘が前回ありましたが、修正部分について御意見はありますでしょうか。

(異議なし)

渡邊副会長：

「3.4 地域情報化の進め方」、「3.5 地域情報化基本計画施策事業」の部分で御意見はありますでしょうか。

浜委員：

青色の背景に明朝体で黒字を使うと、読みにくいので修正した方がよいと思います。

事務局：

印刷業者に印刷を依頼する際に、配色については見直しを行います。

渡邊副会長：

第3期地域情報化基本計画書は、ホームページ上でも公開するのでしょうか。

事務局：

PDFファイルの形式で公開することを予定しております。

渡邊副会長：

用語集を巻末につける予定はあるのでしょうか。

事務局：

第3期地域情報化基本計画書は、各用語について注釈をつける形にしているため、用語集として独立したページは作成していません。

石田委員：

空いている部分には、第2期の計画書のようにイラストが入るのでしょうか。

事務局：

イラストは、印刷業者と調整の上、加えていく予定です。
また、委員から御要望ありました「いこいな」についても計画書の中に加えていきます。

福田委員：

「はじめに」の部分には、どのような内容が記述されるのでしょうか。

事務局：

市長の挨拶文を入れる予定です。

福田委員：

私が経験してきた審議会では、基本計画書の中に会長のコメントを入れていることがありました。

企業で活躍している委員や学識経験の委員だけでなく、市民委員の方も参加して作り上げた計画書ですので、会長のコメントを通じて、基本計画書のコンセプトなどを説明すると計画書として完成度が高まると思います。

事務局：

会長のコメントにつきましては、会長にコメントをいただけるかどうか確認させていただきます。

福田委員：

市民委員の方にも御参加いただいた計画書ですので、どういうコンセプトで作ったかという記述は、是非記載していただきたく思います。会長との調整をよろしく願いいたします。

渡邊副会長：

他に御意見等ありますでしょうか。

(異議なし)

渡邊副会長：

それでは、本内容で答申とさせていただきます。

議題 その他

渡邊副会長：

最後に各委員から一言いただきたいと思います。

各委員：

(各委員からの一言)

渡邊副会長：

本日の答申をもって審議会は終了となります。

平成24年10月から約1年半にわたり本審議会に御尽力いただきありがとうございました。